

# 第75回日本矯正歯科学会大会 優秀発表賞 受賞者

発表番号	筆頭著者氏名		筆頭著者所属	演題名
口演-003	山下	公子	日本大学松戸歯学部歯科矯正学講座	音声を用いた発音時舌位の新たな評価法の開発
口演-007	庄司	あゆみ	東京医科歯科大学顎顔面矯正学分野	歯の矯正学的移動における歯槽骨リモデリング制御機構の解明
学展-014	中藤	貴俊	昭和大学歯学部歯科矯正学講座	成長ホルモン受容体（GHR）遺伝子多型と三次元的な下顎骨形態との関連
学展-021	河野	加奈	岡山大学病院矯正歯科	食餌性状がマウス下顎骨の三次元形態に及ぼす影響
学展-052	福島	由香乃	東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科咬合機能矯正学分野	咀嚼刺激低下は顎口腔組織の成長抑制と海馬転写因子発現の減少に伴う認知学習障害を誘発する
学展-064	山口	博之	東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科咬合機能矯正学分野	超音波マイクロバブル法を応用した歯周組織に対する新規NF- $\kappa$ B デコイ導入法の開発
学展-091	石原	嘉人	ハーバード大学歯学部骨代謝分野口腔医科感染免疫学講座	Sclerostin中和抗体は宇宙飛行による骨量減少と骨細胞性骨溶解を防ぐ-骨細胞のSclerostin自己分泌の新事実-
学展-105	橋本	真奈	岡山大学大学院医歯薬学総合研究科	モデリング期骨組織における骨細胞ネットワーク形成とコラーゲン線維集束化の関与
学展-106	北浦	英樹	東北大学大学院歯学研究科顎口腔矯正学分野	矯正学的歯の移動における破歯細胞形成および歯根吸収へのTNF- $\alpha$ の関与について
学展-109	北見	公平	新潟大学大学院医歯学総合研究科歯科矯正学分野	がん抑制遺伝子BRCA1は口蓋形成に必須である
学展-122	泉田	恵理	昭和大学歯学部歯科矯正学講座	疾患特異的iPS細胞を用いた原発性萌出不全発症機序の解析
学展-143	小笠原	毅	東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科顎顔面矯正学分野	歯科矯正用骨膜下デバイスの形状および新生骨形態が骨接合強度に及ぼす影響の有限要素解析
学展-154	中納	治久	昭和大学歯学部歯科矯正学講座	蓄積されたデジタル歯列モデルを用いた歯冠形態のクラスタリング
学展-173	鈴木	晋雄	凌雲堂矯正歯科医院	早期矯正治療と小児の睡眠呼吸障害 - 早期治療前後のRDI（呼吸障害指数）の変化 -
学展-188	河村	純	愛知学院大学歯学部歯科理工学講座	歯科矯正用アンカースクリューを用いた前歯遠心移動のメカニクス - 有限要素法によるシミュレーション -

# 第75回日本矯正歯科学会大会 優秀発表賞 受賞者

発表番号	筆頭著者氏名		筆頭著者所属	演題名
学展-201	天真	寛文	徳島大学大学院口腔科学教育部口腔顎顔面矯正学分野	新たな下顎臼歯の遠心移動量および移動様式の予測指標の開発ー第2報ー
学展-243	中島	健吾	広島大学大学院医歯薬保健学研究科医歯薬学専攻歯学講座	乳歯歯髄由来間葉系幹細胞の骨再生治療への応用
学展-256	小林	起穂	東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科顎顔面矯正学分野	頭蓋縫合早期癒合症 (Craniosynostosis) 患者の顎顔面形態の解析ーアペール症候群とクルーゾン症候群の比較
学展-259	古川	雄亮	九州大学大学院歯学府歯科矯正学分野	ストア作動性Ca <sup>2+</sup> 流入異常による外胚葉異形成症におけるエナメル質形成不全症の発症メカニズム
学展-278	町谷	亜位子	明海大学歯学部形態機能成育学講座歯科矯正学分野	生後のマウス切歯形成におけるSmad4の関与
症展-008	高橋	由記	東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科顎顔面矯正学分野	矯正用インプラントアンカー (仮称) を併用し治療を行った下顎頭変形を伴うハイアングルII級症例
症展-016	白見	莉沙	東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科咬合機能矯正学分野	下顎頭過形成による歯槽骨の垂直的左右差に対し片側歯槽骨骨切り術を併用し顔貌の対称性を獲得した1症例
症展-019	山口	徹太郎	昭和大学歯学部歯科矯正学講座	Williams 症候群の一例：5歳から24歳の治療経過
症展-025	加藤	千帆	東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科咬合機能矯正学分野	上顎中切歯予後不良歯に対し上顎正中口蓋縫合を越えて反対側中切歯を移動した成人症例
症展-048	犬東	信一	いぬづか矯正歯科	第I期矯正治療にて閉塞性睡眠時無呼吸の改善がみられたPierre Robin Sequence の1例
AE-001	SARPER	Safie	Department of Orthodontics and Dentofacial Orthopedics , Osaka University	Runx signaling is specifically involved in the fusion of primary palate by regulating Tgfb3 signaling
AE-018	HUTAMI	Islamy Rahma	Department of Orthodontics and Dentofacial Orthopedics , Tokushima University Graduate School of Oral Science	The role of osteoclast in the spontaneously developed temporomandibular joint arthritis of the MRL/lpr mice